

森林を守り、育てて、暮らしを守る仕事

しんりんくみあい
森林組合

森林組合では、森に木を植え、育て、何十年もかけて収穫しています。その目的は木材を作ることだけではありません。森には雨水をたくわえて災害を防いだり、空気をきれいにしたり、地球温暖化を防ぐはたらきもあります。森林組合の仕事は、そんな森を大切に守り育てることで、皆さんの暮らしを支えることです。自然が好き人や、地域の役に立ちたい人、未来のためになることをしたい人に向いている仕事です。



このお仕事について
きっかけ

中学のインターンシップで林業の会社に行き、木を植える体験をしました。その時「この木は60年後に切るんだよ」と聞き、未来につながるかっていい仕事だと思ったのがきっかけです。

しんりんくみあい
森林組合ってどんなお仕事をしているの？

木を植える



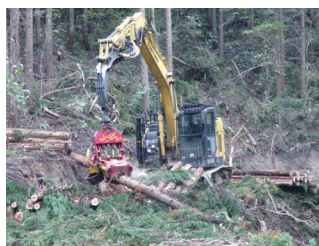
木を切ったあとの場所には、枝や葉、切り株や草などがたくさん残っています。それらをかたづけきれいにした場所に、あなをほり、人の手で1本ずつ苗木を植えます。

木を育てる



木が元気に育つように、まわりの草をかたり、こみ合っている木を切ったり、余分な枝を落としたりします。植えた木が大きくなるまで、こうした手入れをくり返します。

しゅうかく
収穫する



植えてから50~70年かけて大きく育てた木を、重機やチェーンソーを使って切り、収穫します。その後、製材所に運んで加工し、販売するための木材にします。

はんばい
販売する



加工が終わった木材を仕分けして、県内に7か所ある「木材流通センター」へ運び、販売します。販売された木材は、木造住宅や建築の材料に使われます。

こんな人も働いています！

- 森林の調査・測量 ■ 事務

この連合会に教えてもらったよ！

未来のために森を育てています

あきたけんしんりんくみあいいんごうかい
秋田県森林組合連合会

秋田市川元山下町8-28 TEL/018-866-7421

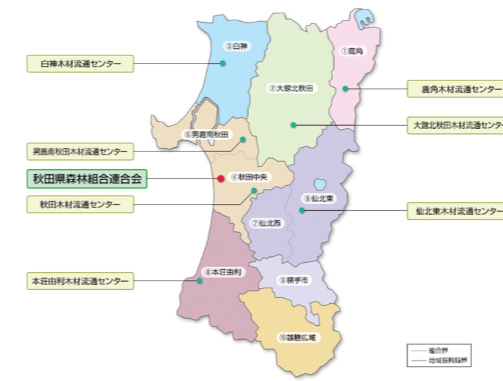
そくりつ 創立/1941年8月 従業員数/20名



しんりんくみあい
森林組合はこんな仕事もしています

ちいき
▶ 地域に根ざした10森林組合

秋田県には10の森林組合があり、それぞれ地域ごとに森の持ち主と話し合いをしながら、森林の手入れや管理をおこなっています。地域にしっかりと根ざし、その土地の森を大切にする活動を続けています。



しょうじゅう
▶ 小・中学生向けの植樹体験・林業体験学習

山や森林にふれる機会をつくり、林業の大切さや楽しさを知ってもらうために、小学生や中学生を対象とした植樹や林業の体験学習をおこなっています。苗木を植えたり、機械を動かしたりする体験ができます。



ざだんかい
▶ 組合員に向けた地区座談会

年1回、組合員の皆さんに向けた座談会を開き、森林組合の取り組みを説明しています。「山の場所がわからない」「木を切ってほしい・植えてほしい」などの相談にも応え、顔を合わせて交流する場にもなっています。



✓ CHECK! 秋田の森林を未来へつなぐため、再造林を推進しています

木を切ったあとに苗木を植えて森を元気にすることを「再造林」といいます。これをおこなわないと、将来使う木材が不足するだけでなく、温暖化や土砂災害を防ぐはたらきも弱くなります。森林組合は再造林を進め、環境を守る取り組みに力を入れています。

